

JASDAQ

証券コード：7716

**NSK**

株式会社 **ナカニシ**  
ビジネスレポート

[ 第58期決算期 ]

平成21年1月1日～  
平成21年12月31日



## ▶株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは平成21年12月31日をもって、第58期（平成21年1月1日から平成21年12月31日まで）の事業年度が終了いたしましたので、ここに業績概要につきまして御報告申し上げます。



代表取締役社長

中西 英一

### 営業の概況

当連結会計年度は、米国大手証券会社の経営破綻が世界的な金融・経済の不安定化につながったリーマン・ショックの影響を受け、世界的かつ大幅な需要低迷という経営環境に直面しました。震源となった米国では金融安定化策、景気対策を足早に打ちましたが、ビッグスリーのうち二社が破綻し、失業率は高止まりしています。一方、この中、中国が単月新車販売台数で世界一を記録するなど世界の潮流に変化の兆しが見られました。世界的な金融・経済面では、一部において回復の兆候が見られるものの、需要の拡大局面が堅調に推移するかどうか

はまだ予断を許さない状況にあります。

このような国内外の経営環境の中、当社グループはLEDカップリングなど先進性が高い製品をいち早く上市し、競合に対して優位性を発揮してまいりました。また、引き続き販売網を強化し、新興市場を含む販路の拡大や整理を進めました。加えて、厳しい事業環境の中で将来の成長に関わる開発投資を持続的に実施し、今後も競争力を強化する見込みです。しかし、海外販売比率が高いという事業特性により、当該期間には世界的な景気減速に伴う世界的な需要低迷や円高による価格競争力低下の影響を全面的に受けました。結果としてほぼ全てのセグメントで売上が減少し、当連結会計年度の売上高は19,982百万円（前年同期比13.2%減）となりました。一方、売上減少による営業利益減少の影響は、為替相場が想定社内レートよりも年間を通して総じて円安に推移したことから多くが為替差益と相殺されております。当連結会計年度では、為替差益435百万円（前連結会計年度は1,600百万円の差損）を計上し、経常利益は6,858百万円（前年同期比5.6%増）、当期純利益は4,338百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

### ■企業理念

**堅牢、優美、廉価なものづくりを通して、人類の健康と**

#### (歯科製品関連事業)

市場の需要減に伴う売上減少に加えて、外貨建売上の円換算額は、円高ドル安ユーロ安になったことに伴い、大幅に減少しました。また、欧州においては、ドイツに設立した集中倉庫が稼動したことに伴い、欧州代理店が保有する在庫削減を進めました。この結果、売上高は、17,953百万円（前年同期比10.5%減）、営業利益は、8,025百万円（前年同期比14.3%減）となりました。

#### (工業製品関連事業)

景気の落ち込みを背景として、国内外で企業の大幅な生産調整や設備投資が低水準となる状況が進んでおり、当社の製品需要も大きく減少しました。この結果、売上高は、1,446百万円（前年同期比36.8%減）、営業利益は、533百万円（前年同期比35.0%減）となりました。

#### (その他事業)

修理等サービスも、景気減速の状況下では売上高が減少しました。売上高は、582百万円（前年同期比13.2%減）、営業利益は、142百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

#### 次期の見通し

今後の景況見通しは、金融不安や設備投資の停滞等が实体经济を悪化させている世界同時不況の影響が当面残る可能性が高いといえます。このような景気後退による需要低迷に加え、円独歩高による輸出競争力の低下など当社を取り巻く環境はかなり厳しい状況が予想されます。

このような状況下、歯科用製品関連事業においては、インプラント関連製品などの高額医療分野及び予防・審美歯科製品など、不要不急の治療分野の需要の低迷が先進国を中心に懸念されます。このため比較的需要が安定している治療用製品（エアタービン、マイクロモーターハンドピース）を中心に製品開発、そして製品の拡販に努めてまいります。一方工業製品関連事業においては更に厳しい受注環境が予想されますが、顧客ニーズを汲み取ったスピンドルを開発し受注に繋げていく一方、アフターサービス体制の整備により安定的な受注体制を構築してまいります。

また、収益面では、円独歩高により外貨販売に伴う換算損や、輸出競争力低下を回避するための輸出価格引き下げ等により利益率の低下が想定されるため、原価低減及び経費削減に努めてまいります。

**より良い社会を実現し、全世界の人々との和を広げる。**

## 鳩山総理、ナカニシを来訪

さる平成22年1月23日（土）、鳩山由紀夫内閣総理大臣が、当社をご来訪されました。

現場の第一線のそれぞれの企業や生活現場を見たいという総理ご自身のご意向から、地方の現場に足を運び、自らの目で地域の実情を見るときともに、現場での声に耳を傾けていく機会を設けることとなり、その最初の訪問先として栃木県を訪れたものです。

当社への訪問については、政府の推進する企業の環境対応や地域雇用の促進について、当社が地場において積極的な役割を果たしていることや、歯科を中心として医療機器製造を本業とする社会貢献性の高さなどに着目されたことによるものです。



1時間ほどのご来訪となりましたが、製造工程では、特に、超精密部品の90%以上を内製化する生産体制、最終製品を全品100%検査する厳しい品質管理体制に大変興味を持っていただき、また、環境に配慮した企業活動（切削油・切削粉のリサイクル、省電力活動等）についても、その現場を直にご覧いただきました。

現場では総理からのお声がけで、従業員を交えて記念撮影を行うなど、終始和やかな雰囲気の中、ご見学を無事終えていただくことができました。

今回の総理ご来訪により、歯科業界、歯科治療製品の重要性に対する理解を深めていただくことができたと自負しております。当社は、今回の総理ご来訪を機に、地域の皆様や株主の皆様のご期待により一層お応えしていく企業として、鋭意努力を続けてまいります。

## 歯科衛生士向けセミナーの開催

当社では、業界初の試みとして、5日間に渡る長期の歯科衛生士向けセミナーを開催しております。講師には著名な歯科医師と高度な専門知識を持つ国内トップの歯科衛生士を迎え、当社の超音波スケーラーを使用してより高い技術の習得をしていただこうというものです。レベル別のカリキュラムを設定、ステップごとに自己診断テストを実施して、習得の度合いを確認しながら確実にステップアップしていただきます。歯科医師による講義では、歯科医師から見た歯科衛生士に求められる知識や視点についての理解を深めていただくなど、業務に直結した実践的な内容となっており、受講者の皆様からご好評をいただいております。

当社では、今後ともこのようなセミナーの開催を通じて、歯科医療従事者の技術向上と製品の普及に努めてまいります。

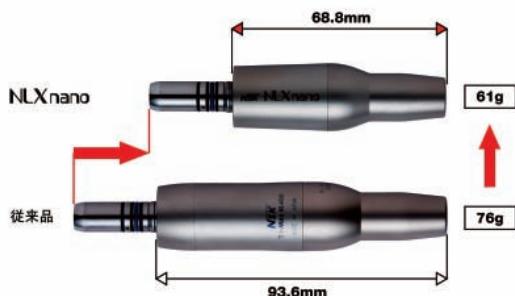


## NEW PRODUCTS

### *new* NLX nano

歯科医師の負担を軽減し、高次元の治療を提供していたため、世界最小・最軽量かつ究極のバランスを実現した歯科用マイクロモーター「NLX nano」を上市しました。

NLX nanoにおいては、従来品 (NL400) との比較で25%の小型化、20%の軽量化に成功し、エアタービン並みの優れたバランスを実現しました。また、光源に、自然光に近いLEDを業界で初めて採用し、長寿命、高輝度化を実現。しかも、高い評価を受けてきた従来品 (NL400) のトルク安定性、モーター耐久性といった優れた特性を落とすことなく継承した、まさに他社の追随を許さないマイクロモーターです。



### *new* iSpeed3

精密部品加工や医療部品加工に使用される精密CNC自動旋盤搭載用の高速ミーリング専用の超高速回転モータースピンドルとして、新製品「iSpeed3シリーズ」を上市しました。狭い機内での取り回しを考慮し、小径かつ全長が最小87.3mm (名刺サイズ) のショートな形状で、様々なツールレイアウトに対応できます。

専用コントロールユニットは、W142×D234×H72mm/重さ3.5kg。高精度回転検出器により、モータ回転速度を100min-1単位での設定を可能にし、きめ細かい加工に対応し、黒とナカニシブルーを基調にした高級感のあるデザインになっております。



#### <製品特徴>

- モータ仕様としては、最高8万回転と6万回転の2種類で、最大出力はそれぞれ150Wと140W。外径サイズφ19.05、φ20、φ22、φ25mmのストレートタイプと取付け容易なフランジタイプの組み合わせで、全9機種をラインアップ。
- コンパクトなモータースピンドル仕様で、高速・低発熱を実現した高精度セラミックベアリングを搭載。

## ▶ 連結財務ハイライト

### ● 連結業績 (単位：百万円)

	第58期 (当連結会計年度) (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年12月31日)	第57期 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年12月31日)	第56期 (自 平成19年 1月 1日 至 平成19年12月31日)
売 上 高	19,982	23,020	22,353
経 常 利 益	6,858	6,497	8,080
当 期 純 利 益	4,338	3,885	4,888

### ● 事業別売上高 (単位：百万円)

	第58期 (当連結会計年度) (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年12月31日)	第57期 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年12月31日)	第56期 (自 平成19年 1月 1日 至 平成19年12月31日)
歯科製品関連事業	17,953	20,059	19,496
工業製品関連事業	1,446	2,290	2,279
そ の 他 事 業	582	671	578
合 計	19,982	23,020	22,353

### ● 地域別売上高 (単位：百万円)

	第58期 (当連結会計年度) (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年12月31日)	第57期 (自 平成20年 1月 1日 至 平成20年12月31日)	第56期 (自 平成19年 1月 1日 至 平成19年12月31日)
国 内	4,274	4,868	4,810
北 ア メ リ カ	4,035	4,473	4,602
ア ジ ア	2,599	2,856	3,049
ヨ ー ロ ッ パ	6,254	7,514	6,664
そ の 他	2,818	3,307	3,227
合 計	19,982	23,020	22,353

### ●売上高

(単位：百万円)

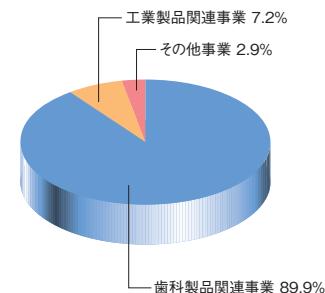


### ●経常利益

(単位：百万円)



### ●品目別売上高比率



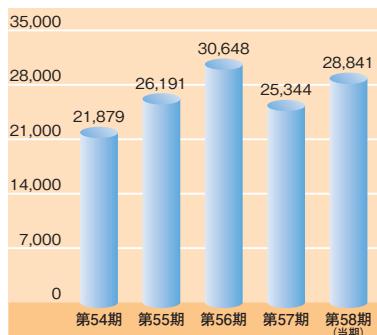
### ●当期純利益

(単位：百万円)

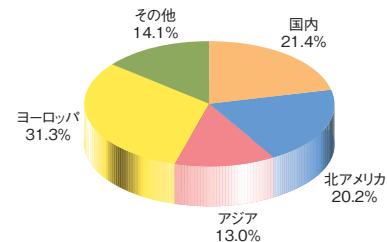


### ●純資産

(単位：百万円)



### ●地域別売上高比率



### ●1株当たりの当期純利益

(単位：円)



### ●1株当たりの純資産

(単位：円)



## ▶ 連結決算の状況

### ● 連結貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成21年12月31日現在)	(平成20年12月31日現在)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>21,053,367</b>	<b>17,967,837</b>
現金及び預金	10,397,634	7,502,067
受取手形及び売掛金	2,917,269	3,140,230
有価証券	1,485,804	1,078,145
たな卸資産	—	5,538,786
商品及び製品	1,942,555	—
仕掛品	1,883,005	—
原材料及び貯蔵品	1,543,033	—
繰延税金資産	519,636	385,832
その他	374,675	331,891
貸倒引当金	△10,247	△9,115
<b>固定資産</b>	<b>11,979,100</b>	<b>12,142,627</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>3,913,913</b>	<b>3,939,873</b>
建物及び構築物	3,858,536	3,771,239
機械装置及び運搬具	1,653,466	1,729,869
工具、器具及び備品	1,798,671	1,610,662
土地	1,070,096	850,707
建設仮勘定	65,882	85,777
減価償却累計額	△4,532,739	△4,108,383
<b>無形固定資産</b>	<b>548,803</b>	<b>514,683</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,516,383</b>	<b>7,688,070</b>
投資有価証券	4,105,420	4,447,598
関係会社株式	133,496	158,033
関係会社出資金	3,300	3,199
保険積立金	1,650,198	1,888,352
長期定期預金	1,000,000	500,000
繰延税金資産	458,881	524,960
その他	167,180	168,020
貸倒引当金	△2,094	△2,094
<b>資産合計</b>	<b>33,032,468</b>	<b>30,110,465</b>

## Point

### 資産の部について

総資産は、前期末と比べて2,922百万円増加しました。

主な理由は、流動資産が、3,085百万円増加したことによります。

不透明な経済環境の下、手元資金を厚くしたことや連結子会社の増加等により、「現金及び預金」が2,895百万円増加、「有価証券」が407百万円増加しました。

固定資産は、「長期定期預金」を500百万円積み増す一方、「投資有価証券」の売却や従業員養老保険の満期に伴う「保険積立金」の減少等から163百万円減少しております。

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成21年12月31日現在)	(平成20年12月31日現在)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>3,553,515</b>	<b>3,046,632</b>
買掛金	562,349	391,577
短期借入金	115,087	1,074,928
未払法人税等	1,430,914	539,266
その他	1,445,163	1,040,859
<b>固定負債</b>	<b>637,631</b>	<b>1,718,960</b>
長期借入金	28,322	1,141,990
繰延税金負債	1,105	2,366
退職給付引当金	291,352	269,103
役員退職慰労引当金	316,800	305,500
その他	51	—
<b>負債合計</b>	<b>4,191,147</b>	<b>4,765,592</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>28,898,703</b>	<b>25,716,453</b>
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	28,068,505	31,105,640
自己株式	△1,201,298	△7,420,684
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△183,573</b>	<b>△388,524</b>
その他有価証券評価差額金	63,828	△39,385
為替換算調整勘定	△247,402	△349,139
<b>少数株主持分</b>	<b>126,191</b>	<b>16,944</b>
<b>純資産合計</b>	<b>28,841,321</b>	<b>25,344,872</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>33,032,468</b>	<b>30,110,465</b>

## Point

### 負債・純資産の部について

負債は、前期末と比べて574百万円減少しました。

主な理由は、「未払法人税等」が891百万円増加する一方、「長期借入金（1年内返済予定借入金含む）」を2,000百万円返済したこと等によります。

純資産は、3,496百万円増加しました。

主な理由は、当期純利益により4,338百万円の増加の一方、剰余金の配当499百万円や自己株式の取得745百万円を行ったこと等によるものであります。

## ●連結損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	(自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	19,982,635	23,020,328
売上原価	7,739,300	8,684,260
売上総利益	12,243,335	14,336,067
販売費及び一般管理費	5,997,462	6,514,965
営業利益	6,245,873	7,821,102
営業外収益	655,776	337,462
営業外費用	42,727	1,661,562
経常利益	6,858,921	6,497,002
特別利益	325,628	9,772
特別損失	264,345	326,091
税金等調整前当期純利益	6,920,204	6,180,683
法人税、住民税及び事業税	2,667,568	2,263,432
法人税等調整額	△128,889	27,076
少数株主利益	43,376	4,772
当期純利益	4,338,149	3,885,402

## ●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	(自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,157,476	4,256,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,847,542	4,446,754
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,322,095	△6,080,554
現金及び現金同等物に係る換算差額	165,370	△690,591
現金及び現金同等物の増加額	153,209	1,932,226
現金及び現金同等物の期首残高	5,480,656	3,521,342
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	162,554	27,087
現金及び現金同等物の期末残高	5,796,420	5,480,656

### Point

#### 損益計算書について

売上高は、世界的な需要低迷や円高の影響を受け、前年比3,037百万円の減少となりました。販売管理費においては、費用対効果考えた事業運用を行い、特に広告宣伝費においては、カタログの作成費を抑制した結果、販売管理費は前年に比べ、517百万円減少しました。営業外損益においては、前年度に多大な為替差損を計上しましたが、今期は為替相場が想定社内レートよりも総じて円安に推移したことから、435百万円の為替差益を計上し、結果、経常利益では、前年を361百万円上回っております。

### Point

#### キャッシュ・フロー計算書について

営業活動によるキャッシュ・フローは堅調に推移しました。投資活動では、投資有価証券の売却や定期預金の払戻しをしたことから資金を得ましたが、安全性の高い定期預金の預入れを増やす一方、財務活動では、長期借入金の返済及び自己株式の取得のために資金を使用しました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は前期末より315百万円増加しました。

## ●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		
平成20年12月31日残高	867,948	1,163,548	31,105,640	△7,420,684	25,716,453	△39,385	△349,139	△388,524	16,944	25,344,872
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△499,103		△499,103					△499,103
当期純利益			4,338,149		4,338,149					4,338,149
連結子会社の増加に伴う増加高			88,549		88,549					88,549
自己株式の取得				△745,345	△745,345					△745,345
自己株式の消却			△6,964,731	6,964,731	—					—
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						103,214	101,736	204,951	109,247	314,198
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△3,037,135	6,219,385	3,182,250	103,214	101,736	204,951	109,247	3,496,448
平成21年12月31日残高	867,948	1,163,548	28,068,505	△1,201,298	28,898,703	63,828	△247,402	△183,573	126,191	28,841,321

## ▶ 単体決算の状況

### ● 貸借対照表(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(平成21年12月31日現在)	(平成20年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	17,436,115	15,991,946
固定資産	11,804,174	12,049,635
有形固定資産	2,948,287	3,216,245
無形固定資産	432,349	360,824
投資その他の資産	8,423,537	8,472,565
資産合計	29,240,289	28,041,581
負債の部		
流動負債	2,548,449	2,529,851
固定負債	608,152	1,674,603
負債合計	3,156,601	4,204,455
純資産の部		
株主資本	26,019,859	23,876,512
資本金	867,948	867,948
資本剰余金	1,163,548	1,163,548
利益剰余金	25,189,661	29,265,699
自己株式	△1,201,298	△7,420,684
評価・換算差額等	63,828	△39,385
その他有価証券評価差額金	63,828	△39,385
純資産合計	26,083,688	23,837,126
負債・純資産合計	29,240,289	28,041,581

### ● 損益計算書(要旨)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
	(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)	(自 平成20年1月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	16,529,173	20,218,244
売上原価	7,352,827	8,660,386
売上総利益	9,176,345	11,557,858
販売費及び一般管理費	4,284,812	4,896,390
営業利益	4,891,533	6,661,467
営業外収益	574,757	284,943
営業外費用	21,757	1,444,320
経常利益	5,444,533	5,502,091
特別利益	321,389	7,784
特別損失	263,996	324,903
税引前当期純利益	5,501,926	5,184,972
法人税、住民税及び事業税	2,206,251	1,902,230
法人税等調整額	△92,121	61,275
当期純利益	3,387,796	3,221,466

### ● 株主資本等変動計算書

当事業年度(自平成21年1月1日 至平成21年12月31日)

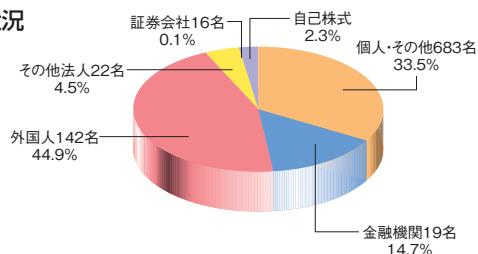
(単位：千円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等		純資産 合 計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自 己 式	株 主 本 計	その他有価証券評価差額金			
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別 途 積 立 金	繰 越 利益剰余金					利益剰余金合計	
平成20年12月31日残高	867,948	1,163,548	1,163,548	65,300	25,090,000	4,110,399	29,265,699	△7,420,684	23,876,512	△39,385	△39,385	23,837,126
事業年度中の変動額												
剰余金の配当						△499,103	△499,103		△499,103			△499,103
当期純利益						3,387,796	3,387,796		3,387,796			3,387,796
別途積立金の積立					3,000,000	△3,000,000	-		-			-
自己株式の取得								△745,345	△745,345			△745,345
自己株式の消却						△6,964,731	△6,964,731	6,964,731	-			-
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)										103,214	103,214	103,214
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	3,000,000	△7,076,038	△4,076,038	6,219,385	2,143,347	103,214	103,214	2,246,561
平成21年12月31日残高	867,948	1,163,548	1,163,548	65,300	28,090,000	△2,965,638	25,189,661	△1,201,298	26,019,859	63,828	63,828	26,083,688

## ▶株式の状況 (平成21年12月31日現在)

- 発行可能株式総数……………25,000,000株
- 発行済株式の総数…………… 6,283,960株
- 株主数…………… 883名

### ●株式分布状況



### ●大株主 (上位10名)

株主名	持株数	議決権比率
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,010千株	16.4%
中 西 英 一	489千株	7.9%
中 西 賢 介	395千株	6.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	349千株	5.6%
中 西 崇 介	286千株	4.6%
中 西 千 代	286千株	4.6%
ビー・エイチ・フォー・フィデリティ・ロープライス・ストック・ファンド	271千株	4.4%
ジェー・エル・ピー・オムニバス・ユー・エス・ペンション・リタイアメント・ジャスト 380052	199千株	3.2%
株式会社足利銀行	151千株	2.4%
中 西 敏 雅	140千株	2.2%

## ▶会社概要 (平成21年12月31日現在)

社 名 株式会社 **ナカニシ**  
(NAKANISHI INC.)

設立 昭和28年2月

代表者 代表取締役社長 中 西 英 一

資本金 867,948,542円

従業員数 592名 (正社員459名)

本社 栃木県鹿沼市下日向700番地

事業所 本社・工場／東京事務所  
大阪事務所  
ドバイ事務所 (UAE)  
モスクワ事務所 (ロシア)  
シンガポール事務所 (シンガポール)

主要関係会社 NSK-AMERICA CORP. (アメリカ)  
NSK EUROPE GmbH (ドイツ)  
NSK FRANCE S.A.S. (フランス)  
上海弩速克国際貿易有限公司 (NSK SHANGHAI CO., LTD. 中国)  
NSK OCEANIA PTY. LTD. (オーストラリア)  
NSK UNITED KINGDOM LTD. (イギリス)  
NSK DENTAL SPAIN S.A. (スペイン)  
NSK EURO HOLDINGS S.A. (ルクセンブルグ)  
PODIA FRANCE S.A.S. (フランス)

主要取引銀行 足利銀行、みずほ銀行、  
三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行

役 員 代表取締役社長 中 西 英 一  
(平成22年3月30日現在)

代表取締役副社長 中 西 賢 介

常務取締役 押 田 薫

常勤監査役 戸 田 洋 子

監査役 (社外) 野長瀬 裕 二

監査役 (社外) 竹 澤 一 郎

## 株主メモ

- 事業年度 1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月中
- 配当金受領株主確定日 期末配当金 12月31日  
中間配当金 6月30日  
※中間配当の実施を取締役会で決議した場合
- 株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社  
郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部  
電話照会先 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)  
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 単元株式数 100株
- 株式取扱手数料 単元未満株式買取手数料……………無料
- 公告方法 電子公告 <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- お知らせ
- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について  
株主様の口座にある証券会社にお申し出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。
  - ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。
  - ・「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、本年より配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。  
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。
- ホームページアドレス <http://www.nsk-nakanishi.co.jp>



本社：〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700番地  
TEL 0289(64)3380 FAX 0289(62)5636

このレポートは再生紙を使用しております。